



## 宮城野げんきつこたより 7.8 月号



今年の七夕飾りも子どもの  
願い事がたくさん。  
みんなの願いが叶います  
ように…

令和6年7月19日発行

### 箱根教育 合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

梅雨のはじまりがいつだったのか、突然陽ざしが暑い日が続き、子ども達も日陰や涼を求めて遊ぶ姿がありました。身体が気温や湿度になれるまでが大変です。戸外遊びはもちろん、室内にいる時も熱中症には気を付けて保育をしています。そして水遊びのシーズン到来です。水の事故のニュースもよく聞くようになりました。乳幼児はわずか数センチの水の深さでも事故につながります。私達保育者は、子どもと気持ちや体験を共有すべく真剣に遊ぶ役割、安全に遊べているのかを監視する役割があります。どちらも真剣です。そこで保護者の皆様をお願いします。体温の記入も含め、水遊びの忘れ物がないようにお願いします。今年も事故のないように夏を満喫できるようにしていきたいです。



### 園にフラネタリウムがやってきた！

17日ホールにおいて、さくら組の野地はるとさんのお母様がフラネタリウムを上映してくださいました。夜の星空をホールで観るという体験は特別なものでした。子ども達の興味はものすごく色々なところで爆発！星空はもちろんですが、機械や白い大きなドームに興味津々。自分の手を映して影絵にしたい気持ちやフアフアなドームを触ってみたい。まずは星空に集中する前に葛藤があったように思います。そこは今までの経験の出番です。楽しむにはどのような行動がベストなのかを学ぶことができました。星座は全部で88。箱根の夜空を今年の夏是非見上げてみたいと感じた素敵なフラネタリウムでした！



### 宮城野保育園 7/12(金)納涼大会開催！

あいにくの雨でしたが、子ども達の熱気は見事でした。「お祭りは、あと何回寝たら始まる？」「たくさん、お客さんがくるからチケット足りるかな？」「かき氷が楽しみ、レインボーにしよう」何回か「お祭り」を経験した子は、イメージを形にして発言をしていました。幼児期にとって大切なのは、経験や学びの積み重ねです。幼児期の経験を手掛かりに小学校での生活や学習に主体的に取り組めるように、積み重ねていきます。今回、年長児は「さくら組、おばけやしき」を友達と作っていました。その中で、一人で黙々と取り組む子、途中で気持ちが継続できず、でも仕上がりや気にする子、友達のアイデアに「いいね、そうしよう」と一緒に取り組む子、先生にイメージを伝えながら自分のなりたなお化けを作って満足した子、私のお化けをもっと怖くするには…と考えながら取り組む子、お化けに忠実になりきり、しっかり怖がってもらいたい気持ちが強く、役割を完璧にこなす子など一人ひとりの学びが確かにありました。

体験を豊かにするには、保護者の方の協力が不可欠です。たくさんのお店屋さんを保護者の方が運営している姿を子ども達はよく見ていました。自分の保護者がお店屋さんになっているのも誇らしく思い、働きぶりをよく見ていました。雨の中、山木会長をはじめ役員の方、地域のボランティアの方、宮城野ばやしの会の皆様、保護者の皆様、子ども達のためにありがとうございました。素晴らしい納涼大会でした。

